

株主のみなさまへ

2015年12月期中間決算報告

証券コード：2580
2015年9月発行

コカ・コーラ・イースト・ジャパン株式会社



コカ・コーラ・イースト・ジャパン株式会社
代表取締役社長

カリン ドラガン
Calin Dragan

ごあいさつ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2013年7月1日にコカ・コーラボトラー4社の統合により誕生した当社は、2015年4月1日に仙台コカ・コーラボトリング株式会社と事業統合し、「成長に向けたOne+ロードマップ」の戦略に基づく人材、事業構造やプロセス等の様々な事業変革を進めております。今後も更に成長のスピードを加速させ、世界に通用する日本のコカ・コーラボトラーとなることを目指してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

上半期の活動概要

- 仙台コカ・コーラボトリング株式会社の事業統合を完了（2015年4月1日付）
- 当社および他社製品を取り扱う自動販売機オペレーションを行う子会社8社の統合を完了（2015年4月1日付）
- 新規製造設備2ライン（海老名工場、茨城工場）が稼働開始
- RTM（Route-to-market）による営業活動効率向上プログラムを当初予定どおり、旧仙台社以外の全営業拠点に展開完了
- 業務変革の基盤となるERPシステム「CokeOne+」がバックオフィス領域において予定どおり稼働開始

通期の見通し

下半期につきましても、日本コカ・コーラ株式会社とのパートナーシップのもと、積極的な新製品導入や販促活動を展開してまいります。特に今年はコカ・コーラの象徴であるガラス瓶「コカ・コーラ」ボトルの100周年を祝した販促キャンペーンを通年で展開しており、消費者の需要を喚起すべく積極的な販促活動を展開してまいります。

2015年12月期の連結業績予想

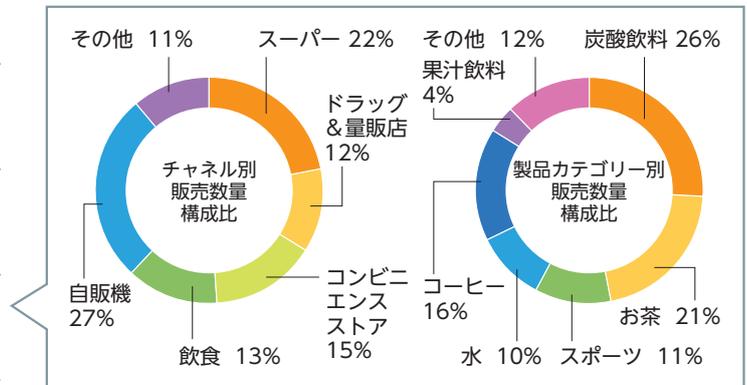
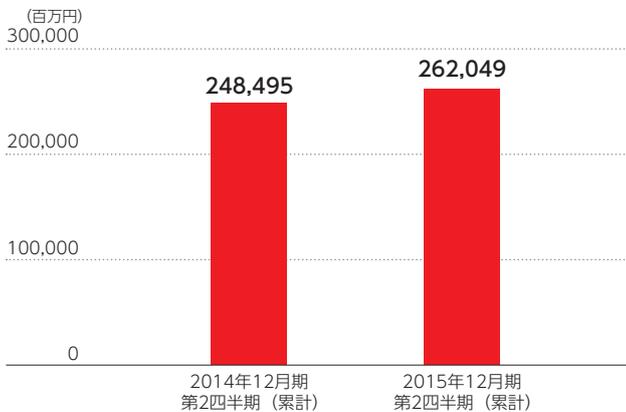
売上高：571,900百万円 経常利益：15,800百万円
営業利益：15,800百万円 当期純利益：8,300百万円

● ○ 連結決算ハイライト ○ ●

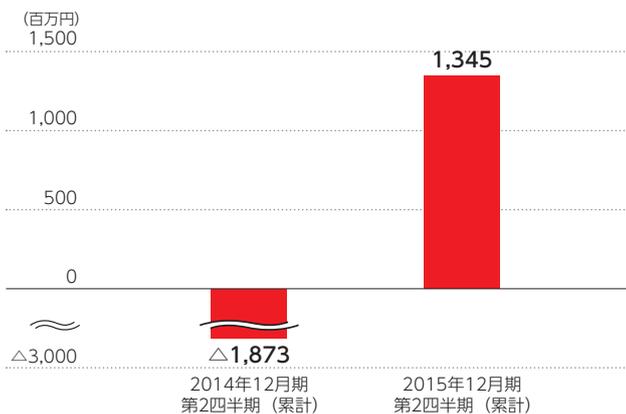
当第2四半期のポイント

- ▶ サプライチェーン分野におけるシナジー効果を引き続き実現するも、当第2四半期はERPシステム立ち上げに伴い生じたサポート、労務費、製品在庫管理等の経費増により、効果の一部が相殺され、計画を下回って推移
- ▶ 当第2四半期、上半期ともバランスのとれた販売数量と売上高成長を実現
- ▶ お茶、水、コーヒーはコンビニエンスストアを中心に引き続き成長
- ▶ 仙台コカ・コーラボトリング株式会社を事業統合し、当第2四半期から連結業績に反映

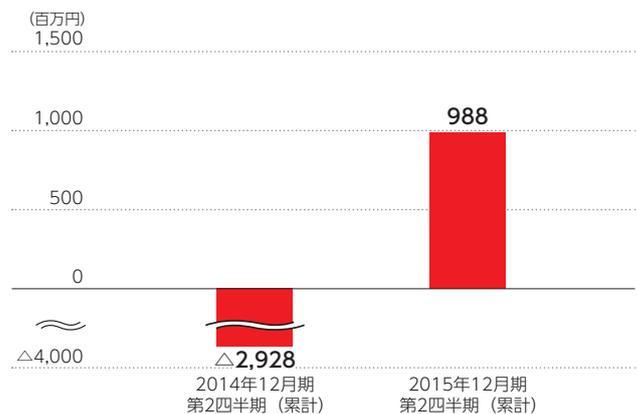
■ 売上高



■ 営業利益



■ 四半期純利益



IRサイトのご案内

その他IR情報や、個人投資家のみなさま向けのコンテンツもホームページに掲載しております。是非ご参照ください。

コカ・コーライーストジャパン IR

検索



NEWS

「成長に向けたOne+ロードマップ」の推進を加速

仙台コカ・コーラボトリング(株)との 事業統合とグループ会社の集約

当社は、2015年4月1日付で仙台コカ・コーラボトリング(株)と株式交換による事業統合を行いました。本事業統合により、更なる市場対応力の強化、将来に向けた投資の最適化を実現し、日本最大のコカ・コーラボトラーとしての地位を更に強固にしていきます。

また、同じく2015年4月1日付でコカ・コーラ社製品および他社製品を取り扱う自動販売機オペレーター事業会社等を統合したFVイーストジャパン(株)(FVEJ)が発足しました。グループ会社の迅速な統合を進めた結果、FVEJの発足により、2013年7月時点で26法人におよんだグループ会社のうち23社の統合を完了し、経営構造の簡素化と事業機能(ファンクション)毎の組織構造への転換が更に進みました。

当社はワールドクラスの日本のコカ・コーラボトラーを目指した中期戦略「成長に向けたOne+ロードマップ」を引き続き強力に推進し、日本のコカ・コーラボトリングビジネスの変革をリードしていきます。

● 当社グループの統合推移

2013年

7月 ● コカ・コーライーストジャパン(株)発足

2014年

1月 ● 製造会社4社をコカ・コーライーストジャパンプロダクツ(株)に統合

7月 ● 物流・機器メンテナンス会社7社をコカ・コーライーストジャパンプロダクツ(株)に統合

2015年

1月 ● 事業会社4社(CCCJ、三国社、東京社、利根社)を当社に統合

4月 ● 仙台コカ・コーラボトリング(株)との事業統合
● 当社製品および他社製品を取り扱う自動販売機オペレーター事業会社等8社をFVEJに統合

Promotion Information

新製品

進化した「コカ・コーラ」ボトル スリムボトル登場

「コカ・コーラ」ボトルが誕生して100年目の記念すべき年となる今年、アルミニウム素材を使って更に進化したコカ・コーラボトル、スリムボトルを発売。

休憩中や移動中などに飲みやすく、女性にも持ちやすいすっきりとしたボトルで、これまでに「コカ・コーラ」を飲んだことのない方や最近飲まなくなった方にも、改めてコカ・コーラの魅力を訴求していきます。



よりわかりやすく、楽しいプログラムへと強化

多摩工場の 見学プログラムをリニューアル

当社は工場見学をお客さまや地域のみなさまをはじめとするあらゆるステークホルダーとのダイレクト・コミュニケーションの拠点と位置付け、更なる情報発信の強化を図るため、多摩工場の見学プログラムを刷新しました。



触ってわかる！
コカ・コーラボトル体感



パネル展示
コカ・コーラの歴史と文化



リサイクルマネジメントシステム



製造ライン



シワシワ体験



ユニフォームを着てみよう！

多摩工場は、旧東京コカ・コーラボトリング株式会社の生産拠点として1963年に操業。現在では「コカ・コーラ」ボトルをはじめとするビン入り製品の製造を続けるなかで缶やPETボトルなど多様化する容器にも対応する高い生産能力を誇ります。また、年間2万人以上が工場見学に訪れる、当社の工場の中で最も来場者の多い工場となっています。

新しくなった見学プログラムは、コカ・コーラの歴史やCCEJの地域における活動などについて、楽しみながら理解を深めていただくための様々な工夫が施されています。

来場者アンケートや当社のWEBサイトやFacebookなどを通じてお客さまから積極的にご意見をうかがい、ご要望を取り入れた特別プログラムを展開していきます。

 **コカ・コーライーストジャパン
工場見学サイト**

<http://www.ccej.co.jp/plant/>

 **コカ・コーライーストジャパン
公式Facebookページ**

<https://www.facebook.com/cocacolaeastjapan/>

イベント

“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐開催

2015年7月26日(日)に、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットにおいて、日本コカ・コーラがスポンサーを務める“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久決勝レースが行われました。大会は23日から4日間で、23日はフリー走行、24日はフリー走行と公式予選、25日は鈴鹿4耐決勝レース、8耐トップ10トライアル、前夜祭、そして26日に決勝レースが行われました。4日間合計の来場者数は12万1千人で、前年から9千人を上回る人が訪れました。



会社概要 (2015年6月30日現在)

会社概要

商号	コカ・コーライーストジャパン株式会社 (英文社名:Coca-Cola East Japan Co.,Ltd.)	上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
本店所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂六丁目1番20号	会計監査人	新日本有限責任監査法人
代表者	代表取締役社長 カリン・ドラガン 代表取締役副社長 マイケル・クームス	販売エリア	東京都/神奈川県/静岡県/山梨県/愛知県/ 岐阜県/三重県/埼玉県/群馬県/新潟県/ 千葉県/茨城県/栃木県/宮城県/福島県/ 山形県の1都15県
資本金	64億99百万円	事業内容	清涼飲料水の製造、加工および販売
設立年月日	2001年6月29日 (2013年7月1日 コカ・コーライーストジャパン 株式会社に商号変更)		

役員 (2015年7月1日現在)

取締役

代表取締役社長	カリン・ドラガン	コカ・コーライーストジャパンプログラフツ(株) 代表取締役社長 FVイーストジャパン(株) 代表取締役社長 仙台コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長
代表取締役副社長	マイケル・クームス	財務本部長
取締役	赤地 文夫	営業本部広域法人営業統括部長
取締役	川本 成彦	財務本部コーポレートアドミニストレーション部長
取締役	尾関 春子	法務本部長
取締役	イリアル・フィナン	ザ コカ・コーラ カンパニー 上級副社長(ボトリング投資グループ社長)
取締役	ダニエル・セイヤー	ザ コカ・コーラ カンパニー 西ヨーロッパ ビジネスユニット プレジデント
取締役	稲垣 晴彦	北陸コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長
取締役	高梨 圭二	
取締役	吉岡 浩	

監査役

常勤監査役	永淵 富三	
常勤監査役	杉田 豊	
監査役	野崎 貞夫	
監査役	近藤 原臣	日本コカ・コーラ(株) バイスプレジデント社長室長

株式情報 (2015年6月30日現在)

株式の状況

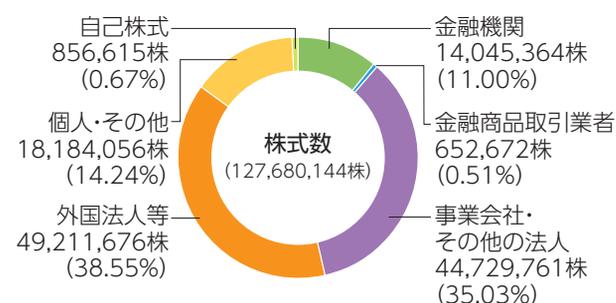
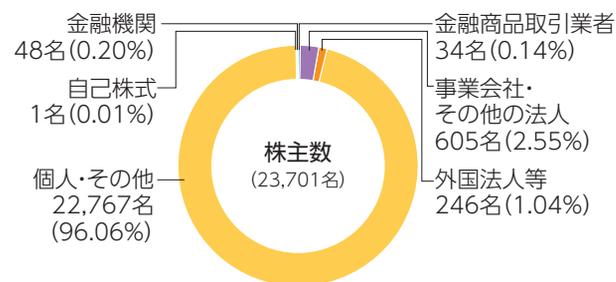
発行可能株式総数	487,000,000株
発行済株式の総数	127,680,144株
株主数	23,701名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ヨーロッパアン リフレッシュメンツ	20,605,579	16.13
日本コカ・コーラ株式会社	16,669,354	13.05
株式会社千秋社	5,451,200	4.26
東洋製罐グループホールディングス株式会社	5,126,090	4.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	4,835,720	3.78
三井物産株式会社	3,650,983	2.85
カメイ株式会社	3,373,548	2.64
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL ACCOUNT NO.1	3,233,987	2.53
株式会社引高	2,668,548	2.09
THE COCA COLA EXPORT CO.	2,250,500	1.76

※1. 持株比率は、表示単位未満を切捨てて表示しております。
 ※2. 当社は、自己株式を 856,615株保有しております。

株主分布状況



株主インフォメーション

株主優待制度のご案内

当社では日頃のご支援に対する感謝のしるしと、当社製品へのご理解を深めていただく機会として、毎年12月31日現在の株主のみなさまに、年1回当社製品を贈呈しております。

● 贈呈時期(年1回贈呈)

12月31日現在名簿記載の株主さま ▶ 4月上旬にご送付いたします

● 贈呈基準

100株以上500株未満保有の株主さま ▶ 当社製品12本

500株以上保有の株主さま ▶ 当社製品24本

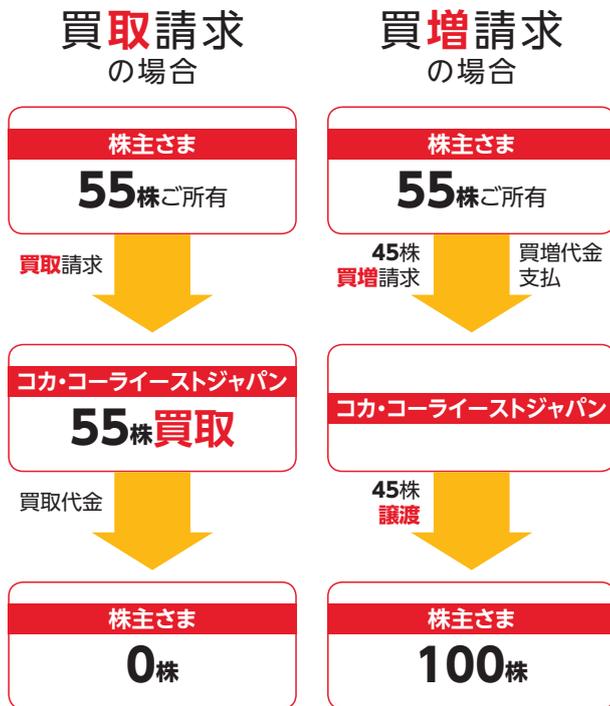


優待品製品例(写真の製品と異なる場合があります。)

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株(1単元)となっておりますので、1~99株(単元未満株式)を市場で売買することはできません。単元未満株式については、当社に対して買取請求(売却)、または100株単位となるよう買増請求(購入)できる制度があります。

● 55株をご所有の場合 ●



株式事務のお手続きに関して

住所変更、買取、買増請求、その他の株式に関するお手続きにつきましては下記へお問い合わせください。

- 旧コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)
 - 旧東京コカ・コーラボトリング(株)
 - 旧利根コカ・コーラボトリング(株)
- の株主さま

証券口座で株式を保有している株主さま
口座を開設されている証券会社等

特別口座で株式を保有している株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行
0120-232-711(フリーダイヤル)

- 旧三国コカ・コーラボトリング(株)の株主さま

証券口座で株式を保有している株主さま
口座を開設されている証券会社等

特別口座で株式を保有している株主さま
特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行
0120-782-031(フリーダイヤル)

尚、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
剰余金の配当の基準日	6月30日、12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います ※ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。 公告掲載URL http://investor-jp.ccej.co.jp/phoenix.zhntml?c=251855&p=iro1-epnnws

COCA-COLA、コカ・コーラ、COCA-COLA ZERO、コカ・コーラ ゼロ、FANTA、ファンタ、GEORGIA、ジョージア、爽健美茶、そうげんびぢゃ、AQUARIUS、アクエリアス、綾鷹、あやたか、ILOHAS、いろは・すはThe Coca-Cola Companyの商標です。

コカ・コーライーストジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂六丁目1番20号
TEL : 03-5575-3749 URL : <http://www.ccej.co.jp/>

UD FONT

